

浜松の中山間地域 可能性を考えよう 28日 市民交流会議



来場を呼びかける森田さん
左と植田さん＝浜松市中央
区の静岡文化芸術大で

浜松の中山間地域の可能性を考える「まちむらりレ」が、

28日、浜松市天竜区生保（天竜区二俣町）で開かれる。過疎化が進む地域を支える人材について、有識者の基調講演や静岡文化芸術大（同市中央区）の学生

を含めたトークセッションがある。

浜松市と文化芸大が主催し、今年で10回目。会議は3部制で1部は「地域サポート人材が集落と交わり、起こった変化」をテーマに法政大現代福祉学部

上山棚田団（岡山県美作市）の水柿大地理事が基調対談。2部は元浜松山里いきき応援隊の小林成彦さんが加わり、浜松のサポート体制を語り合う。

3部は天竜区佐久間町下平自治会の大石幸弘会長のほか、文化芸大文化政策学部4年の富田菜々美さん、森田瑞希さん、植田勝也さんの3人が登壇する。司会には3人を指導する船戸修一教授が務める。

3人は下平地区に足を運び、祭りの手伝いや地域の清掃に取り組んだ経験を踏まえ「地域の人と触れ合い、信頼関係を築く大切さも伝えたい」と抱負を語る。

入場無料。午後1時40分。問い合わせは浜松市市民協働・地域政策課053（922）0200（田中伸一）